CMCリサーチウェビナー【ライブ配信】

再生可能エネルギーによる水素製造

講 師：柴田　善朗氏

日本エネルギー経済研究所　新エネルギーグループ

低・脱炭素化にむけて水素が期待されている。水素は大きくグリーン水素（再エネ）とブルー水素（化石燃料+CCS）に分類され、両者ともにメリット・デメリットがある。長期的に必要となるグリーン水素について、世界の取組状況や課題を整理し、今後の可能性を展望する。

【経歴】一般財団法人　日本エネルギー経済研究所　電力・新エネルギーユニット　新エネルギーグループマネージャー　研究主幹　専門分野：エネルギー工学、再エネ、水素、CCUS、エネルギー貯蔵等に関する政策・技術分析　1992 年：東京大学工学部航空学科卒業　1994 年：東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻　修士課程修了 1994 年：(株)東芝　入社　エネルギー事業本部　1997 年：フランス国立パリ鉱業大学　修士課程修了　1999 年：(株)住環境計画研究所　入所　2010 年：日本エネルギー経済研究所　入所　計量分析ユニット　2013 年：同　新エネルギーグループ

【活動】" CCU・カーボンリサイクルに必要な低炭素化以外の視点 －　CCUS という分類学により生じる誤解　－",日本エネルギー経済研究所 2020 年 2 月、“低・脱炭素社会に向けたメタネーションの意義”, エネルギー・資源 Vol.41 No.1(2020)、"分散型コージェネのカーボンニュートラルメタン利用による再エネ出力変動緩和",第 36 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, 2020 年 1 月、“カーボンニュートラルメタンのポテンシャルと経済性 －　PtG と CCU の活用 －”,第 35 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, 2019 年 1 月、柴田,“時間軸を踏まえた Power to Gas のビジネスモデル－調整力の提供, 複数用途への活用,再エネ主力電源化への貢献 －”, IEEJ, 2018 年 8 月、“水素による再エネ活用「Power to Gas」”, 電気総合誌オーム, 2018 年 4 月、“Power to Gas と水素製造”, 水素エネルギーシステム, Vol.43, No.1 (2018)、“我が国における Power to Gas の可能性”, エネルギー経済, 第 42 巻, 第 1 号, 2016 年 3 月、“国内再生可能エネルギーからの水素製造の経済性”, 第 32 回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス, 2016 年 1 月、“ポスト FIT を見据えた太陽光発電と蓄電池のあり方－太陽光発電＋蓄電池システムの競合性に関する分析－”,“系統対策としてのデマンドレスポンスの可能性”, 風力エネルギー, Vol.38, 通巻.112 (2014)、“調整力制約を踏まえた風力発電導入ポテンシャルの評価”, 風力エネルギー, Vol.37, 通巻.107 (2013)

開催日時	2021 年 9 月 14 日（火）13：30～16：30
受 講 料	44,000 円（税込）　※ 資料付 ＊ メルマガ登録者は 39,600 円（税込） ＊ アカデミック価格　26,400 円　(税込)

※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用の URL を別途メールにてご連絡いたします。

詳細は裏面をご覧ください。

＊アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限ります。

★【メルマガ会員特典】2 名以上同時申込かつ申込者全員がメルマガ会員登録していただいた場合、**1 名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額**となります。

★【参加対象者】エネルギー事業者、再エネ事業者、水素関連事業者、機器メーカー、商社、地方自治体、政策立案者、大学・研究機関等　**★【セミナーで得られる知識】**再エネ由来水素製造の経済性、経済性改善に向けた方策、制度的課題、可能性と課題、長期的展望

【本セミナーのプログラム】　※適宜休憩が入ります。

1. 水素を巡る最近の動向
- 1.1 我が国の取組状況
- 1.2 海外での取組み状況

2. グリーン水素とブルー水素
- 2.1 各々の可能性と課題
- 2.2 グリーン水素の重要性

3. グリーン水素のビジネスモデル
- 3.1 ビジネス化の障壁
- 3.2 ビジネス化に向けた制度設計の役割

4. 長期的展望
- 4.1 グリーン水素のあるべき姿
- 4.2 脱炭素化以外の視点

ウェビナー申込書

弊社記入欄			
セミナー名	再生可能エネルギーによる水素製造		
所定の事項にご記入下さい **メルマガ会員、登録希望の場合は○↓**	会社名（団体名）　TEL： 住　所　〒　FAX： E-mail：		
会員登録済み / 新規登録希望	部署　役職	氏　名	
お支払方法	銀行振込・その他	お支払予定	2021　年　月　日頃

■申込方法：セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail(re@cmcre.com)でお申し込みください。
■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。
■申込先　：**㈱シーエムシー・リサーチ**　東京都千代田区神田錦町 2-7　TEL 03-3293-7053
■本セミナーの関連情報は、弊社ＨＰでもご覧になれます。⇒　https://cmcre.com

参加申込 FAX 番号
03-3291-5789

CMCリサーチウェビナー【ライブ配信】

2021年9月14日（火）開催

再生可能エネルギーによる水素製造

講　師：柴田　善朗氏

日本エネルギー経済研究所　新エネルギーグループ

当該セミナーは、ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）です！

【ライブ配信対応セミナー】
・本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。
お申し込み前に、下記URLより視聴環境をご確認ください。
→ https://zoom.us/test
・当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
・タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
・お手元のPC等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A機能はご利用いただけます。
・ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
・「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。
https://zoom.us/jp-jp/meetings.html

【お申込み後の流れ】
・開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
・事前登録完了後、ウェビナー参加用URLをお送りいたします。
・セミナー開催日時に、参加用URLよりログインいただき、ご視聴ください。
・講師に了解を得た場合には資料をPDFで配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEBへの掲載などは固く禁じます。
・資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

【注意事項】
・本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元のPCなどの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。
https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6
・Zoomクライアントは最新版にアップデートして使用してください。
・インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が乱れる場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
・万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
・本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
・受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
・Zoomのグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。
万が一部外者が侵入した場合は管理者側で部外者の退出あるいはセミナーを終了いたします。